



全日本自治労連労働組合 北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

いいのか? プルサーマル。国はとうとう「許可」してしまった。「使用済み燃料のリサイクル」を前面に出す推進側。安全の保障なんてない。ひとたび事故が起きれば取り返しがつかなくなる。今後は、実行させない運動が必要だ。

朝風

きな臭い雰囲気漂っている。北朝鮮と韓国。そこに米韓軍事演習。「折も折と、のような」と、澤地久枝さんが話していた。「戦火交えても何もない答えなかった。話し合いの場を持つのが21世紀の人間の英知ではないか」と。

2011年度道政への「要求と提言」

道民生活の向上めざす

公共サービスの向上と職場実態の改善要求として、自治労北海道本部は「2011年度道政への要求と提言」をまとめ、11月15日、16日の両日、道・教育庁との意見交換を行った。

道本部は、自治体をはじめとする公共サービスを担う労働組合として、道民生活の向上と公共サービスの前進、さらに、道政の発展をはかるため10月14日、要求書を提出し、11月5日に道から回答を受けた。

限られた時間の中での意見交換であったため、十分とは言えないが、職場実態の訴えや問題を明確にしたことで前向きな回答を引き出した。



職場実態や問題を明確にしたことで前向きな回答を引き出した。左が道、右が道本部=11月15日

の日程なども含めて検討し、運動方針の実現にむけた政策的議論の豊富化をめざす。

意見交換の特徴的な内容

◆社会福祉評議会
要介護認定に時間がかかる。受給者への不利益も考えられるので、実態を踏まえた対応を要求。制度的な問題もあり、現場の苦勞も理解するので努力したいと回答。

◆現業公企評議会
便利屋の回収について問題になっているのは承知している。一般廃棄物は市町村対応となっているが、グレイゾーンもあり線引きは難しいと考えている。扱いを含めて今後取り締まりができるような法整備を国に対して求めていくと回答。

◆女性部
多くが女性である保健師が育児休業等取得の際、代替確保が市町村では難しいため、保健所における未就業保健師の情報集約・提供を求めた。絶対数が不足して確保策の策定は難しいが情報交換は行っていくと回答。

◆自治体政策部
公契約条例は、労働者の労働意欲や将来的な道税収入の展望などからも早期制定に向けて努力を要求。多方面への影響は理解する。国の動向も踏まえ研究していきたいと回答。

◆消防協
TPP課題も基本反対として、環境支払制度や戸別補償制度の活用など条件整備が急がれるのではないかと問いに、製造過程の問題や生産抑制の懸念、国民理解を得られるかなどの問題もあると回答。

安全永楽交通株の不当解雇の撤回求める 二度も生活設計壊された

連合北海道私鉄総連永楽観光バス支部対策委員会は、11月19日、自治労会館で、不当労働行為糾弾!不当解雇の撤回を求める総決起集会を開き、各産別から約200人の支援者が詰めかけた。

集会は、10月18日、安全永楽交通(株)が労組の寒空に、理不尽な突然の解雇は許さない。労働組合をつぶす目的の不当

を通知、その後わずか13日で解雇したことに對し、撤回を求め開かれた。村田委員長(連合北海道道事務局長)は、「北海道の寒空に、理不尽な突然の解雇は許さない。労働組合をつぶす目的の不当

労働行爲だ。早期解決にむけ会社側は襟を正してほしい」と訴えた。当該労組・吉原委員長は、「今後が不安。永楽交通のために築き上げてきた、組合員、家族の気持ちを社長はわからない。10年前にも同じ扱いをされ、二度も生活設計を壊された。永いたたかいに、二度も生活設計を壊されるよう労働者としてたたかう」と感謝と決意を述べた。



「会社の歴史を築きあげてきた労働者を簡単に解雇した」と支援者に訴えた=11月19日、自治労会館

2010秋期闘争

2010給与改定に関わる道内状況

2010賃金確定闘争11月29日現在の状況(いずれも妥結予定も含む)。

1-①	給料表改定先送り・継続協議(2011年1月以降)	24単組
1-②	一時金改定先送り・圧縮・継続協議	17単組
2	制度調整見送り・継続協議	57単組
3	56歳以上の1.5%給与等削減見送り	43単組
4	すべて人勤どおりで妥結単組	66単組

※「すべて人勤どおりで妥結」でも、独自削減を圧縮するなど前進回答を得ている単組も数多くある。これらの数字には、北海道、札幌市は含まれていない。

JICHIRO スケジュール

2010年12月

- 1日(水) 北海道福祉ユニオン第11回定期大会(十勝川温泉)
- 4日(土) 道本部学校「現業・公企」コース(～5日、札幌市)
- 7日(火) 道本部第7回執行委員会(札幌市)
- 青年女性オキナワ平和の旅(～9日、沖縄県)
- 11日(土) 臨時・非常勤等職員連絡会議第1回幹事会(札幌市)
- 北海道医療定期総会(札幌市)
- 政治フォーラム総会・学習会(札幌市)
- 13日(月) 道本部組織強化・拡大行動委員会(札幌市)
- 第1回消防職員組織化対策委員会(札幌市)
- 14日(火) 道本部第1回合同専従者会議(札幌市)
- 共済道支部運営委員会(札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 ユーザー名:hokkaido
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

道本部2011国民春闘討論集会

とき: 2011年 1月7日(金) 13:00～
1月8日(土) 12:00まで

場所: 北海道自治労会館5F「大ホール」ほか
札幌市北区北6条西7丁目

引きつづき 13:00～15:30 「政治・政策学習会」
を開きます 4Fホール

参加お申込みは道本部賃金労働部
12月28日(火)まで

2011道本部青年部春闘討論集会

とき: 2011年 1月15日(土) 13:00～
16日(日) 12:30まで

場所: 札幌市「定山溪グランドホテル 端苑」
札幌市南区定山溪温泉東4-328

参加お申込み・お問い合わせ 道本部青年部
各単組・総支部→12月20日(月)まで地方本部
→12月22日(水) 道本部に最終報告を!

シリーズ 子ども・子育て新システム VOL.2

「仏作って魂入れず」 では困る!



「子ども・子育て新システム」は、今年の6月に内閣府少子化社会対策会議において基本制度案要綱が決定され、現在は「基本制度」「幼保一体化」「子ども指針(仮称)」の三つのワーキングチームを設置して、連合も含めた関係者との意見交換が行われています。基本制度案要綱においては、幼稚園は文部科学省、保育所は厚生労働省といった事業ごとの所管や制度、財源を統合し、包括的・二元的な制度を構築するとされています。

しかし、一本化する財源をどこに確保できるのか、地域主権の名の下で、何でも市町村の自由裁量に委ねてしまうのか、既存の幼稚園や保育所のあり方はどうなるのか心配な点がたくさんあります。「仏作って魂入れず」では困るのです。



全道各地から800人が結集した幌延デー=11月23日、幌延町

11.23 幌延デー北海道集会 核持ち込み許さない

北海道への核持ち込みは許さない11・23幌延デー北海道集会が11月23日に開かれた。幌延町共進会場には、全道から800人の労組組合員・市民運動団体などが集まった。

主催者を代表して道平和運動フォーラム長田事務局長が、「8月には高速増殖炉もんじゅの原子炉容器内に炉内中継装置を落下させる重大な事故。泊原子力発電所では地層の不十分な調査など安全性が担保されていない」と指摘、「プルサーマル計画の強行を許さず、最終処分場を受け入れない取り組みを一層強化する」と述べた。

集会では、道平和運動フォーラム本田現地監視委員より幌延の現状報告、集会決議を採択し、核持ち込み反対のシュプレヒコールで住民に訴えた。

そもそも原発ってナニ?

集会の前段に、3産別1団体139人で全道青年女性学習会が開かれ、「そもそも原発ってナニ?」と題し、平和友好実行委員会・宇高事務局長が講演した。宇高さんは、原子力発電のしくみや、プルサーマル計画について説明し、「原発は放射能災害、核兵器製造への道をつくる」と強調、「一部の人が利益を上げるために原発を推進している。次世代に『負の遺産』を残さないためにみんなで反対の声をあげよう」と話した。

学習会の後には、参加

結成30周年さらなる団結に



【後志地本発】赤井川村職は、2011年度に結成30周年を迎えます。書記局では、記念事業にあたって、第1回打ち合わせを10月22日の定期大会終了直後に行いました。基本的には20周年記念に行った事業を参考に進めますが、組合員、OB

が築きあげ、守り続けてきたわが組合にとっては大切な事業です。先輩の労苦に心えるためにも30周年記念事業を成功させなければなりません。

とはいっても、今回たよ「記念誌の作成は〇さんが中心なっていた」「来賓は誰だった?」など、20周年時の思い出話に花を咲かせました。

次回以降の打ち合わせは、もう少し事業内容について深く検討し、組合員に周知していくことを考えています。

職場だより



20周年当時の思い出話に花を咲かせた=10月22日

泊原発3号機 「プルサーマル計画」撤回!



札幌市内をデモ行進してプルサーマル計画廃止を訴えた=11月24日

内閣府・原子力委員会は11月16日、原子力安全・保安院の審議を「妥当」とする「二次審査」結果を答申した。これを

受け、国が11月中旬にも「許可」の見通しとなったため、北海道平和運動フォーラム・「脱原発・クリーンエネルギー」市民の会は、11月24日、札幌市大通西6丁目広場で、泊原発3号機のプルサーマル計画の撤回を求める緊急全道集会を開いた。

船橋奈穂美「市民の会」代表は、「青森県六ヶ所村の再処理工場もすままない、もんじゅも事故続きのため、攻議行動を展開中。この2日後、国はプルサーマルを「許可」した。攻撃行動を展開中。



首相官邸に、参加者全員で原発反対のメール行動をした

者全体で首相官邸への「メール行動」で原子力政策の転換を求めた。

えさきさんの 国会だより



8月はじめのことです。国会対策室の奥の部屋。新人議員13人が昼の弁当をつまんでいます。

「ではそういうことで、皆さんよろしいですね」と国対委員長が7月分の日割法案成立のめどは...

歳費の自主返納をまとめました。場所は変わって、夜の居酒屋。新人議員4人がお酒をのんでいます。

「80万円を超えるな」。自主返納の額です。「借金している身にしたら

「こたえるよ」とつい本音が出ます。会話が身の上話となってまた焼酎が進む。「俺たちが自主返納した最初で最後の議員になるかもしれないな...」。不安や思いを語り合っているうちに、いつの間にか客は私たち4人だけになっていました。

さて秋の臨時国会。日割り法案の成立のめどはたっています。あの日の居酒屋の話が本当になるのか。

：初登場の江崎でした。(11月10日 会館511号室にて)

えさきたかし参議院議員 「国会だより」に初登場

本号から国会だよりに、今夏の参議院選挙(比例)で当選した、組織内のえさきたかし参議院議員が加わり4人体制で連載します。

えさきたかし参議院議員の公式ホームページがリニューアルしました。せひ、ご覧ください。
<http://esakitakashi.net/>

忙中余話

11月30日をもつて公務職場を退職し、労働運動一本で生きていくことになった。

就職、結婚、出産(妻)・三度目の労組専従、市町合併と人生の節目を味わってきたが、今回の決断は苦しかった。

唯一持ち前のポジティブさと、「どうにかなるさ」的な感覚が消えた時間があった。

本当に自分が適材なのだろうか? 年老いた父母・家族は? 職場という運動の原点を離れてい

いのか? 一方で、誰かがやらなければ! 定年まで10年(現行法)、人生の集大成だ! 数えればキリがないくらい悩んだ。これからの人生で、もうこれ以上の決断を迫られることがないだろうと思う。

決断に際し多くの人のから意見をいただき、そしてともに悩んでいた。そのことを肝に銘じてこれからの活動をしていく決意である。

自分で決めた人生の節目を築きみたいし、将来間違っていないかと思えるために努力したい。

(大出 彰良)